

科学研究費補助金の採択・交付の概要

科研費全体を
100%として

1課題につき委員以外の研究者3名(約450名)がレフェリーを担当。

審査部会及び各系
15~25名の研究者
で構成される人
社・理工・生物の3
系の委員会(全68
名)で採択・決定

学問的要請や社会的要請等
に対応して審査・交付

レフェリー+ヒアリングで採択

特別推進
研究
【12%】

- ① 全ての申請課題を対象に、関連分野の研究者が審査意見書を作成。
- ② 第一線の研究者により構成される人文・社会、理工、生物の各系委員会により、関連分野の研究者の審査意見を参考に、ヒアリング課題(採択予定数の約2倍)を選定。
- ③ 各系委員会によりヒアリングを行い、採択候補課題を決定の上、**審査部会で採択**。

特定領域
研究
【23%】

- 領域の審査
- ① 第一線の研究者により構成される各系委員会によりヒアリング領域を選定。
 - ② ヒアリング対象領域(採択予定数の約2倍)について関連分野の研究者が審査意見書を作成。
 - ③ 各系委員会により、関連分野の研究者の審査意見を参考に、**ヒアリングの上採択候補領域を決定後、審査部会で領域を採択**。
- 公募課題等の審査…各領域別専門委員会により、個別課題あたり3名の委員による書面審査の結果を基に、全体審査で採択候補課題を決定の後、**審査部会で課題を採択**。

1領域につき委員以
外の研究者3名(約90
名)がレフェリーを担当

研究者のニーズを配慮し、学問的
動向に即して審査・交付

各学問分野の申請件数に応じて採択

基盤研究
等
【58%】

- ① 第一線の研究者による**二段階の審査**により選定
- (第1段審査)
② 細目ごとに、通常3~6名の委員による書面審査(5段階の採点評価)
- (第2段審査)
第1段審査の評価
- ③ 専門分野(分科)ごとのグループでの審査
- ④ 各学問分野別に設置する小委員会により、採択候補課題の選定。
- ⑤ **科学研究費委員会**で採択。

1領域につき6~8名の研究者(全249名)で構成される約30の領域別専門委員会で選定

第1段審査 3,828名の研究者が書面審査
基盤研究S, A, B 6名
基盤研究C 3名
萌芽研究 3名

書面審査の結果を受けて、約40の小委員会ごとに20~25名の研究者(全661名)が合議審査・選定

☆審査に関わる研究者年間約5,300名

文部科学省 約 860名 (レフェリーを含む)

科学技術・学術審議会委員 68名

" 領域別専門委員 249名

レフェリーを担当する研究者 約 540名

日本学術振興会 4,489名

第1段審査委員 3,828名

第2段審査委員 661名

注 1. 審査委員、レフェリーを担当する研究者は、平成15年度審査の実績に基づく。

注 2. 研究種目の【 】書きは、科学研究費補助金全体に占める当該研究種目の14年度予算額の割合。